

笑顔サンサンプルプロジェクト

-おいしい沖縄そばを食べてもらって、笑顔を増やす企業になる-

1. はじめに

自社の紹介

- ・ 企業名 株式会社 サン食品
- ・ 従業員数 90名（2024年12月現在）
- ・ 売上 17億9500万円（2023年度）
- ・ 設立年月日 昭和43年1月20日
- ・ 事業概要 麺類（沖縄そば、うどん、ラーメン、焼そば他）の製造、麺用だし、麺用具材、土産品、その他食料関係の製品及び商品の販売
- ・ 販売先 県内（量販店・業務店・お土産品店）
県外（量販店・業務店）・ネット販売

DXのきっかけ(背景、取組前の課題等)



電話/FAXの利用が
慢性化している



業務の大半を
Excelに
依存しており、
属人化している



表計算ソフトによる原価計算を実施しているが
最適化できていない
6日~10日かかる



材料の発注、期間内の製造量の見極めが甘く、
機会損失が発生



製造担当で原材料配合を手計算で行っており
歩留まりの差異が大きい
廃棄が多くなる

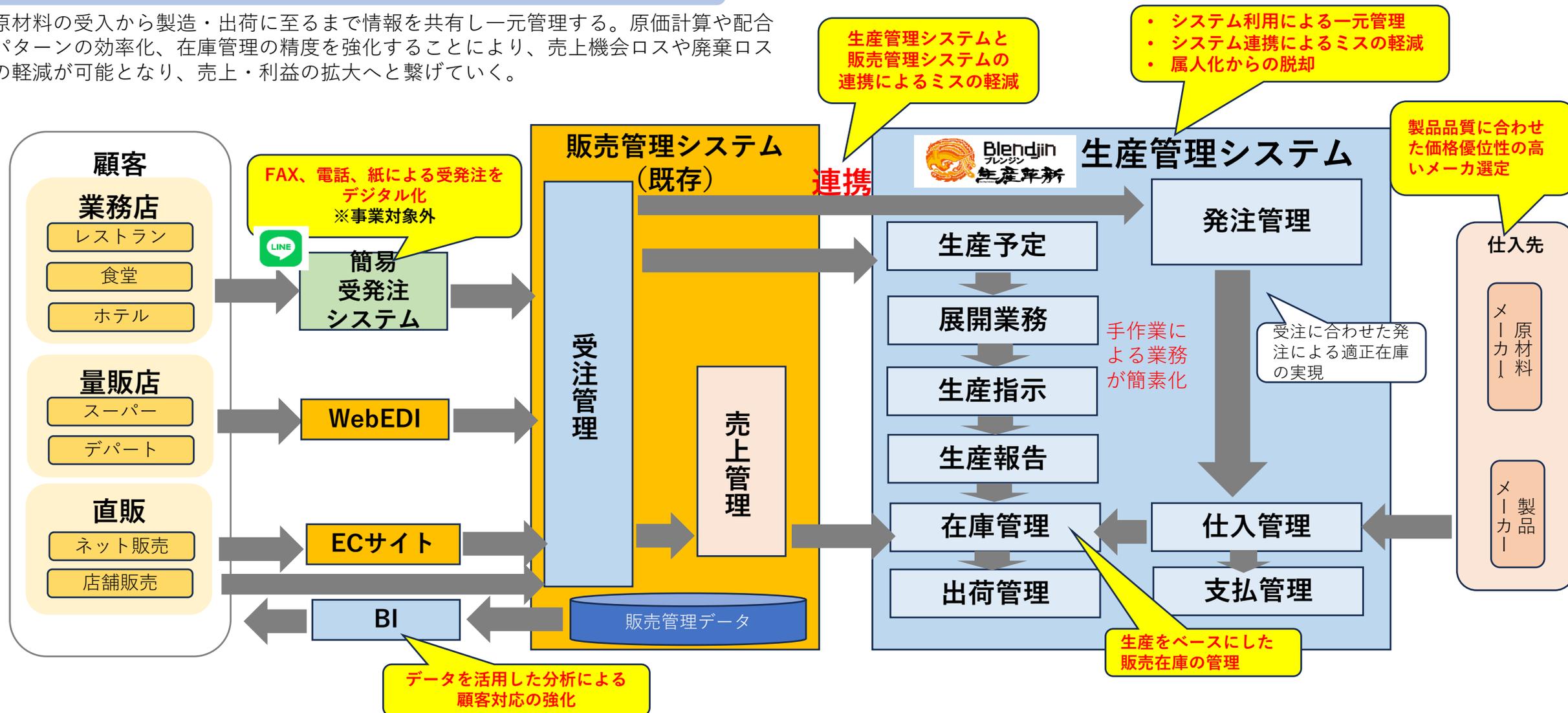


新製品の企画に関する
レシピの**シミュレーション**
に**時間**がかかっている

2. 本補助事業で実施した取組

取組内容

原材料の受入から製造・出荷に至るまで情報を共有し一元管理する。原価計算や配合パターンの効率化、在庫管理の精度を強化することにより、売上機会ロスや廃棄ロスの軽減が可能となり、売上・利益の拡大へと繋げていく。



笑顔サンサンプルプロジェクト

-おいしい沖縄そばを食べてもらって、笑顔を増やす企業になる-

3. 事業成果(見込まれる効果)

見込まれる効果

システムの導入・活用で在庫管理の精度が向上し、生産遅延が回避されます。製造部門では生産性が向上し、受注対応能力が高まり、売上機会ロスや廃棄ロスの軽減が期待できます。さらに、過去のデータを基に顧客情報分析を行い受注量を予測し、効率化とコスト削減が実現します。業務プロセスにおいてはシステムに合わせてマニュアル化することで社内教育がスムーズになり業務の再現性が維持されます。

観光事業の活性化に伴い、業務店では品質や個性に対する要望が増加することが予測されます。最適化されたデータの活用によりリスクを事前に識別し、対策を講じることで、沖縄そばを通じて観光事業の活性化の貢献が期待できます。

	見込まれる効果
生産性の向上	生産ラインの見直し・最適化 ※生産前事務作業：年間1,008H削減
コスト削減と利益率の向上	効率的な生産プロセス ※光熱費他：年間2,550千円削減
	在庫コストの削減
ブランドと市場地位の強化	顧客サービスの向上
収益機会の増加	迅速な市場対応 カスタマイズと個別対応強化

DXに取り組んで分かった事

- 聖域なく業務を変える意思がDXでは重要になる
- 変えるもの、変えないものの判断が重要になる
- 社内コミュニケーション、顧客コミュニケーションが成功につながる
- 失敗を恐れずチャレンジすることで成功方法が見えてくる

その他(出てきた課題や苦労した点等)

- 経営陣と現場のギャップが産まれないようコミュニケーションをとる体制作り
- ITベンダーと認識合わせを行い、課題解決を行うゴールの共有化
- 課題解決がゴールであり、システム導入が目的にならないようにする

笑顔サンサンプロジェクト

-おいしい沖縄そばを食べてもらって、笑顔を増やす企業になる-

4. 今後の展開

今後の取り組み

	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3
ターゲット	量販店強化	県内業務店強化	県外マーケット強化
コアコンピタンス	<ul style="list-style-type: none"> 大量生産 高品質 安定供給 	<ul style="list-style-type: none"> 新商品開発 価格競争 	<ul style="list-style-type: none"> 付加価値 ファンの拡大 
必要な活動	<ul style="list-style-type: none"> 生産ラインの見直し・最適化 効率的な生産プロセス 在庫コストの削減 	<ul style="list-style-type: none"> 品質管理の向上 顧客サービスの向上 迅速な市場対応 個別対応の強化 	<ul style="list-style-type: none"> プロダクト強化 プロモーション強化 価格競争力強化
期間	1年～2年	2年～3年	～5年
関連するデジタル	生産管理システム 販売管理システム 業務の自動化 分析システム	生産管理システム 販売管理システム 業務の自動化 分析システム 簡易受注システム	生産管理システム 販売管理システム 業務の自動化 分析システム 簡易受注システム ECサイト強化

県内量販店・業務店はもとより、県外マーケット・ECサイト市場を拡大し沖縄そば製造メーカーとして責任を担い、再び観光客が1000万人を超え、沖縄県が活気づくよう**サン食品は成長（DX）を続けます！** その先には沖縄のソウルフード「沖縄そば」が、沖縄県内だけではなく県外、さらには海外の方々にも周知され、愛され、笑顔を作れるようになるからです。